

平成 17 年度第 1 回年度計画の進行状況調査結果について

1 年度計画の進行状況調査について

地方独法の第 28 条に基づき、公立大学法人は年度計画の業務実績について法人評価委員会の評価を受けることとなっています。また、法人評価委員会はその結果を公表しなければならないこととなっています。そのため年度計画の適正な執行に向け、7月に第 1 回進行状況調査を行いました。

2 全体の進行状況について

実施状況	項目数	全体に対する割合
実施済みまたは実施中の取組	238	68.8%
検討中の取組	53	15.3%
未着手の取組	55	15.9%
合 計	346	100.0%

3 項目別の進行状況について

	項 目	項目数	実施中 実施済	検討中	未着手	未着手の 割合
I	大学の運営に関する目標を達成するための取組	176	104	26	46	26.1%
II	地域貢献に関する目標を達成するための取組	12	9	2	1	8.3%
III	国際化に関する目標を達成するための取組	6	6	0	0	0.0%
IV	附属病院に関する目標を達成するための取組	85	75	10	0	0.0%
V	法人の経営に関する目標を達成するための取組	55	36	12	7	12.7%
VI	自己点検・評価、認証評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための取組	6	6	0	0	0.0%
VII	その他業務運営に関する重要目標を達成するための取組	6	2	3	1	16.7%
	全 体	346	238	53	55	15.9%

4 主な取組の事例

(1) 実施中・実施済みの取組について(主な事例) 238件

- ①教養ゼミ授業と並行して授業検討会を開催し、問題点や情報の共有。
- ②1年次の共通教養科目に関して学生アンケートを実施。
- ③入試緊急プロジェクトの実施、高校 200 校訪問の実施。
- ④本校舎教室の一部に空調設備を設置。

- ⑤キャリア支援室を設置し、相談員を常駐させ相談・支援体制の充実を目指す。
- ⑥弁理士による「発明相談会」や「知財戦略委員会」を毎月開催。さらに、研究推進コーディネーターによる研究相談会を開催。
- ⑦学生の留学支援、教職員の交流を目指し国際化推進本部を設置。
- ⑧インフォームドコンセントの充実のため、説明書・同意書の書式を整備し、登録医制度を開始。さらに4月から5月にかけて講習会を開催。
- ⑨地域医療連携のため、地域医療従事者などへ研修会機会を提供、また市民に向けての健康講座の開催。
- ⑩セカンドオピニオン外来の開設。
- ⑪授業料等について口座引落とし制度の導入を行う、またリカレント講座など公開講座の講習料についてコンビニでの収納を開始。
- ⑫財務会計システムの安定稼働に努め、経営管理に関する情報のデータベース化を目指し、財務会計システム定例会を開催。
- ⑬事務処理の簡素化・効率化を目指し、新たな事務決裁規程の整備や文書のEメール配信ルートの確立。
- ⑭広報担当部署を新たに設置しホームページのリニューアル、新聞社・TV局に向けてのプレスツアーを実施。
- ⑮法人評価や、自己点検・評価、認証評価など大学全体の評価に取り組むために大学評価本部の設置。
- ⑯セクシュアルハラスメント防止委員会の設置。

(2) 未着手の取組について（主な事例） 55件

****未着手の取組については後期実施予定となっています。**

- ①履修単位やTOEFL等の取得点数により留年の可能性の学生に対してのカウンセリング体制の確立や、スコアに関するデータ管理体制の構築。
- ②他大学のeラーニングの実情調査や、効率的に導入できる分野の検討の実施。
- ③GPAを導入している他大学の実態調査、海外を含む他大学の成績優秀者顕彰制度の調査、海外の大学との単位互換の基準についての調査・検討。
- ④高大連携事業の内容の協議、調整。
- ⑤外部委員を含め構成された教員評価委員会の設置。
- ⑥教員の昇任等を審査するにあたっての教員評価結果の活用方法の検討、昇任等基準・昇任等審査についての検討。
- ⑦専門職員の採用計画策定。
- ⑧教育組織の改変にあわせての学内の倫理規定の見直し、充実、実施体制の強化。
- ⑨効率的な職務遂行のための法人における内部監査機能の検討。

5 今後のスケジュールについて

10月に第2回の進行状況調査を実施し、平成18年1月に第3回の進行状況調査の実施を予定しています。また、第3回調査の際には17年度の業務実績を活かした、18年度年度計画の策定についても予定しています。